

令和4年度 教育研究の方向性

～令和の日本型学校教育の実現を目指して～



京都市総合教育センター 研究課研究員

久保田 守

日本型学校教育の成果と課題

<成果>

- ・OECD各国の中でもトップクラスの成績
- ・学力の地域差の縮小
- ・規範意識と道徳心の高さ

子どもたちの知・徳・体を一体で育む

*中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』（答申）令和3年1月26日

<課題>

- 子どもたちの多様化
- 生徒の学習意欲の低下
- 教師の長時間勤務による疲弊
- 情報化の加速度的な進展に関する対応の遅れ
- 少子高齢化、人口減少の影響
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により浮き彫りとなった課題

*中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』（答申）令和3年1月26日

スマホない高齢者、接種予約の支援窓口で長蛇の列「息子も高齢でネット苦手」

2021/05/18 09:45 **新型コロナ**

前橋市で17日、75歳以上を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種の予約が始まった。インターネットによる予約を推奨しているが、苦手な高齢者らのために入力作業を支援する窓口が市役所や支所など計17か所に開設された。



ワクチン予約の支援を受けるため、列を作って待つ高齢者（17日、前橋市役所で）

市役所では職員10人が、希望者の氏名や住所を聞き取り、パソコンに入力して予約を手伝った。午前9時過ぎには、正面入り口前に120人ほどの長い列ができた。前橋市南町の女性（87）は「スマートフォンを持っていないし、息子も高齢でインターネットが苦手みたい。職員にやってもらう方が確実だ」と話していた。

*2021年5月18日 読売新聞（電子版）より

2030年の社会と子供たちの未来（平成28年答申）

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となっており、しかもそうした変化が、どのような職業や人生を選択するかにかかわらず、全ての子どもたちの生き方に影響するものとなっている。
社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば、難しい時代になると考えられるかもしれない。

*『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について』
中央教育審議会（答申）平成28年12月21日

Society5.0時代

予測困難な時代

5

Society5.0時代

何をすればいいのか？

予測困難な時代

何が問題なのか？

どのようにすればいいのか？

問いを自ら見だし、正解のない課題の解決に向かっていく

6

次代を切り拓く子どもたちに求められる資質・能力

- 教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力
- 対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力
- 困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力
- 文章の意味を正確に理解する読解力

*中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』
(答申) 令和3年1月26日

次代を切り拓く子どもたちに求められる資質・能力

- 教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力
 - 対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力
- 数学的な見方・考え方
(算数科・数学科の実践)**
- 課題を発見し解決する力
(算数科・数学科の実践)**

*中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』
(答申) 令和3年1月26日

次代を切り拓く子どもたちに求められる資質・能力

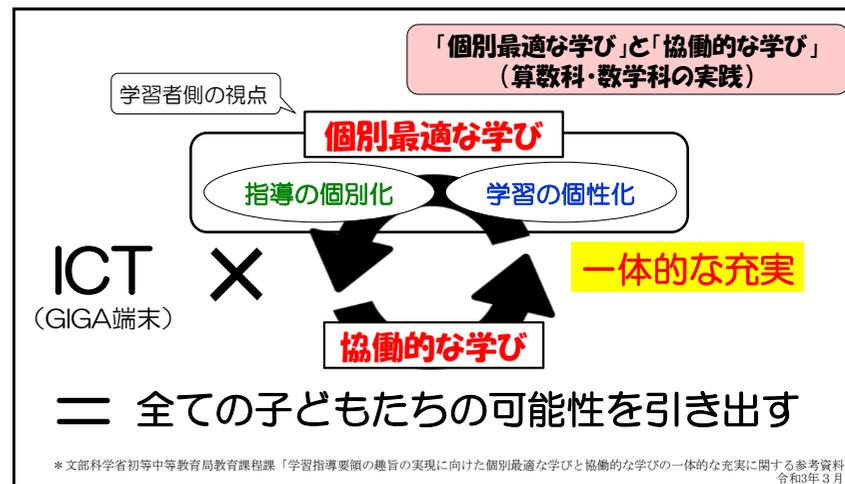
○困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力

自己調整する力
(家庭学習と授業での実践)

○文章の意味を正確に理解する読解力

読み解く力
(小・中 理科の実践)

*中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』(答申) 令和3年1月26日



これからの教職員の目指すべき姿として

OJTの活性化
(調査研究)

○学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて **探究心を持ちつつ自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける**

○多様な人材の確保や教師の資質・能力の向上により、質の高い教職員集団を実現し、個々の教職員がチームの一員として **組織的・協働的に取り組む力を発揮**しつつ、校長のリーダーシップの下、共通の学校教育目標に向かって学校を運営していく

*中央教育審議会『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』(答申) 令和3年1月26日

令和4年度 第24回教育研究発表会

令和5年2月17日(金)

令和4年度 教育研究の方向性

～令和の日本型学校教育の実現を目指して～

「個別最適な学び」と「協働的な学び」
(算数科・数学科の実践)

自己調整する力
(家庭学習と授業での実践)

読み解く力
(小・中 理科の実践)

OJTの活性化
(調査研究)



京都市総合教育センター 研究課研究員

久保田 守